

平成 29 年 12 月 22 日(金)

報道関係者各位

株式会社シェルター

**「静岡県富士山世界遺産センター」オープン
木格子にはシェルターの三次元設計・加工技術を使用**

12 月 23 日(土)、静岡県富士宮市にて「静岡県富士山世界遺産センター」(設計:坂茂建築設計)がオープンを迎えます。建物のシンボルともいえる逆さ富士をかたどった木格子の加工には、当社が開発・導入した最新鋭の三次元設計・加工技術が使用されました。日本初の、木を「削り出す」加工によって曲線・ひねりのある部材を製作。それらを組み上げ、底部は正円、上部は楕円形の、ゆるやかなカーブを描く逆円錐状のデザインを実現しています。



展示棟を覆うように取り付けられた木格子は逆さ富士を模しており、水盤に反映することで富士山の形が浮かび上がります。ゆるやかに反った、木が編み込まれたような意匠は、一つ一つ形状が異なる約 8000 ピースの部材によって構成されています。部材加工には、ヨーロッパ以外で初めて導入された三次元加工機と、それを制御する最新の設計・加工アプリケーションソフトが使用されました。この加工機は木材を「削り出す」ことで、ひねりなど複雑で自由な加工を可能にします。工場で製造された、短いもので 10cm、長いもので 3m ほどの部材を約 2 ヶ月かけて現場で組み立て、今までに類を見ないダイナミックでインパクトのある木格子を実現しました。

木材は、静岡県産の「FUJI HINOKI MADE(フジヒノキメイド)」を 100%使用。適正な森林管理、加工、流通の下で産出された木材であることが証明されており、国際認証「SGEC/PEFC-CoC プロジェクト認証」を国内で初めて取得しています。

本物件は、敷地面積 約 7,000 m²、延床面積 3,410 m²、地上 5 階建ての鉄骨造。設計は坂茂建築設計、施工は佐藤工業株式会社・若杉組特定建設工事共同企業体、木格子加工及び施工はシェルター。2013 年にユネスコの世界文化遺産に登録された富士山の自然や歴史、文化などを後世に守り伝えていく拠点として建設されました。

会社概要

【代表者】代表取締役 木村 一義

【設立】1974 年 12 月

【事業内容】木構造メーカー

(木質構造部材の製造・販売、木造建築の構造設計・計算、注文住宅の設計・施工)

【URL】<http://www.shelter.jp/>

【本件に関するお問い合わせは下記まで】

株式会社シェルター 広報担当: 土田、菊地

山形市松栄一丁目 5-13 TEL: 023-647-5200 E-mail: toiawase@shelter.jp

■木格子の概要

クラディングに使われた格子は、仕上げ寸法を120角とした富士ヒノキ材を用いました。内外部の格子は、約8000ピースの部材数で構築されています。それぞれの部材は、曲率やひねり、長さが違う部材を削り出して製作したものです。組立てにおいても、交点（接点）は、角度がそれぞれ違う形状で7,261箇所存在します。相じゃくりを基本として組み合わせ、交点の加工にデザインを施すことで一種類の材料で編み込みに見えるよう表現しました。

木材は、有機的で魅力的な特徴を持ち、穿孔、切断、切削など加工性に優れる建築素材です。木格子に使用された曲線・ひねり形状部材の設計・製造は、3D-ModelerとCAM、3D加工マシンの3つの新要素が必要です。当社はこれらの新技術によって「新たな木造建築のデザイン」を創出し、芸術的な「木造都市」づくりを推進いたします。

■木格子イメージ

